

主要産地における平成27年産水稻の生育状況等について 第6報 (7月3日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (平成27年7月3日)

道府県	生育状況等		同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等(抜粋)
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等(自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等	
北海道	(全道)	生育は平年並。草丈はやや短く、葉数は平年並、茎数は少ない。 (北海道農政課 6月15日現在)	・7月のいもち病の発生時期はやや早、発生量ははやい予報 (北海道病害虫防除所 6月30日公表)
	(生育)	(空知) 日照時間が少なかったため、分けつは遅慢となった(早1日)。分けつ始期は6月6日。草丈は28.1cmで平年並、葉数は6.8枚で平年並、茎数は179.5本で少ない。(空知総合振興局 6月15日現在) (石狩) 低温寡照により、生育はやや遅慢となった(早2日)。草丈は22.4cmで平年並、葉数は5.5枚でやや多く、茎数は134本で多い。(石狩総合振興局 6月15日現在) (後志) 草丈は23.8cmで平年並、葉数は5.6枚で平年並、茎数は154本で多く、生育は2日早い。 (後志総合振興局 6月15日現在) (胆振) 生育は平年並。草丈は21.2cmでやや短く、葉数は5.7枚で平年並、茎数は121.5本で平年並。 (胆振総合振興局 6月15日現在) (日高) 生育は平年並みに推移している(早1日)。草丈は25.1cmでやや短く、葉数は6.2枚で平年並、茎数は146本で平年並。 (日高総合振興局 6月15日現在) (渡島) 生育は平年より早く推移(早5日)。分けつ始期は6月6日。草丈は28.3cmで長く、葉数は6.3枚で多く、茎数は232本で多い。(渡島総合振興局 6月15日現在) (檜山) 生育は平年並(早1)。草丈は23.7cmでやや短く、葉数は6.4枚で平年並、茎数は191.5本で多い。 (檜山振興局 6月15日現在) (上川) 生育は平年並みに推移(遅2)。草丈は27.2cmで短く、葉数は7.1枚でやや少なく、茎数は239本で少ない。 (上川総合振興局 6月15日現在) (留萌) 6月の低温・日照不足により生育が停滞し、ほぼ平年並みとなった。分けつ始期は6月4日。草丈は31.6cmで平年並、葉数は7.0枚で平年並、茎数は196本でやや少ない。(留萌振興局 6月15日現在) (オホーツク) 生育は平年並、分けつ始期は6/9(早1日)。草丈は26.0cmでやや短く、葉数は5.7枚で平年並、茎数は114.0本でやや少ない。(オホーツク総合振興局 6月15日現在)	
青森	(生育)	・生育状況(6月30日現在) (黒石) 6月19日から6月29日までの平均気温は、平年に比べ0.5℃低く、日照時間は平年比101%と並みであった。 「つがるロマン」は、草丈は44.1cmで平年より3.3cm短く、株当たり茎数は33.0本で平年より3.7本多く、葉数は9.3葉で平年並みであった。「青天の霹靂」は「つがるロマン」と比べ、草丈が7.6cm長く、株当たり茎数は2.1本少なく、葉数は0.8葉少なかった。 (十和田) 6月19日から6月29日までの平均気温は、平年に比べ0.2℃低く、日照時間は平年比99%と並みであった。 「つがるロマン」は、草丈は53.8cmで平年より0.2cm短く、株当たり茎数は24.1本で平年より1.1本多く、葉数は9.4葉で平年より0.5葉多かった。 (青森県産産技術センター農林総合研究所 6月30日現在)	・7月の葉いもち及び細菌性白点病は平年並と予報。コバネイナゴは平年並、アカヒゲホソドリカスミカメ及びフタオビヨコヤガはやや多いと予報。 (青森県病害虫防除所 7月2日公表)
岩手	(生育)	・生育概況(6月25日現在) 農業研究センター(北上)は、「ひとめぼれ」、「あきたこまち」とも、草丈、葉数、葉色は平年並みであり、茎数は「ひとめぼれ」で平年を上回り、「あきたこまち」で平年をやや上回っている。 県北農業研究所(軽米)は、「いわてっこ」は、葉数、葉色は平年並みであり、草丈は平年に比べやや短く、茎数は平年を上回っている。 (岩手県農業研究センター 6月29日付) ・6月25日に実施した生育調査(22カ所、孫べ33品種)の結果、県全体では、草丈41.2cm(平年より0.9cm長い)、葉数499本/m ² (平年比119%)、葉数は9.0葉(平年より0.4葉多い)といずれも平年を上回っており、生育は平年より2~3日程度進んでいる。葉色の目安であるSPAD値は概ね平年並。 (中央農業改良普及センター県普及グループ 6月26日付)	・7月のいもち病、斑点米カメムシ類の発生はやや多いと予報 (岩手県病害虫防除所 6月30日公表)
宮城	(生育)	・7月1日現在、気温が平年より高く推移していることから、水稻の生育は概ね順調であり、葉数(平年差+0.2枚)からみると平年に比べて2~3日程度進んでいると思われる。生育調査ほの県全体平均は、草丈が51.6cm(平年比104%)、1m ² 当たり葉数が557本(平年比103%)であった。県平均の「幼穂形成期」は7月7~8日頃と見込まれる。 (宮城県 7月2日付) (仙台) 7月1日現在、水稲直播栽培における必要葉数(370~420本/m ²)を確保したほ場と、確保できていないほ場がある。 (仙台農業改良普及センター 7月2日付) (大崎) 生育は旺盛で草丈、葉数平年を上回るところが多く、葉数と葉色は平年と比較してばらつきがあるものの、順調に生育している。ほとんどのほ場で葉数は400~500本/m ² あり、有効葉数は確保され中干しの時期に達している。もう間もなく幼穂形成始期(幼穂長1mm)に達すると考えられる。(大崎農業改良普及センター 7月2日付) (登米) 7月1日現在、生育調査ほの生育は、草丈は平年と同程度で、葉数は平年並~少なく、葉数は平年よりやや多く、葉色はほ場によってはバラツキがある。前回調査に比べて、急激に葉色の低下したほ場も見受けられる。生育良好なほ場では幼穂分化が確認されている。出穂期は8月1日頃と、平年より3日早いとみられている。 (登米農業改良普及センター 7月2日付) (石巻) 7月1日現在の生育調査ほの生育状況は、葉数は平年比の84~97%と、平年並~やや少なくつた。葉色は、ササニシキ(株生)で平年差-3.7ポイントと平年を下回ったが、その他の調査ほでは平年並となった。ひとめぼれでは、0.3mm程度の幼穂が確認された。(石巻農業改良普及センター 7月3日付) (本吉) 7月1日調査の結果、生育のスピードは鈍化し、平年より5日程度の遅みとなった。葉数は両生育調査ほとも必要葉数を確保した。気仙沼市の生育調査ほ(ひとめぼれ)では、平年と比較して、草丈は平年並、葉数はやや少なめ、葉数は多く、葉色はやや薄くなっている。南三陸町の生育調査ほ(ササニシキ)では、平年と比較して、草丈は長く、葉数は多く、葉数は多く、葉色はやや薄くなっている。管内の移植水稲は、おおむね必要葉数(約450本/m ²)を確保したと思われる。(本吉農業改良普及センター 7月2日付) (亶理) 6月10日調査(ひとめぼれ)の結果、葉数は前年を上回り、葉数も前年より多くなる傾向がみられる。田植後の気温が高く推移したことから、土壌の還元が進み、生わらや未熟たい肥を施用した水田では還元障害による水稻の活着不良や生育抑制が見られる。(亶理農業改良普及センター 6月17日付) (大河原) 6月19日の管内の生育調査ほは、草丈は平年並みで、葉数は多め、葉色はやや低めとなっている。葉数がやや多く、生育はやや早めに経過している。(大河原農業改良普及センター 6月19日付) (美里) 6月10日調査の移植栽培ほは、草丈、葉数、葉色ともに平年を上回っている。草丈は25~31cm(平年比104~109%)で平年に比べ長い傾向がみられた。葉数は195~308本/m ² (平年比124~135%)で平年を上回った。葉数は7.1~7.4葉(平年差+0.4~+0.7枚)で平年より3~4日生育が進んでいる。直播栽培ほは苗立ちは良好で、適正な目標本数を確保できた。 (美里農業改良普及センター 6月12日付) (栗原) 6月19日現在、生育調査ほ(ひとめぼれ)3ほ場の平均は、草丈は平年並(平年比99%)、葉数は平年並(平年比100%)、葉数は平年より多く(平年差+0.6枚)、葉色は平年よりやや濃い(平年比103%)。葉数は平年より多く、生育は平年より5日程度進んでいる。草丈、葉数は平年並、葉色はおおむね平年並だが、葉数及び葉色はほ場による差が大きい状況。直播栽培ほの草丈・葉数・葉数は昨年を下回っている。(栗原農業改良普及センター 6月23日付)	・7月の葉いもちの発生時期・発生量は平年並、コバネイナゴの侵入盛期は平年並だが発生量ははやい予報 (宮城県病害虫防除所 6月23日公表)
秋田	(生育)	(秋田) 水稻の生育は概ね順調。葉数が確保されたほ場で中干しが始まっている。(7月3日付) (由利) 生育は順調に推移し、多くのほ場が中干しを実施中。ほ場内の水管理をしやすくするための灌漑作業も行われている。(7月3日付) (鹿角) 好天により生育は順調に進んでいる。葉数では8~9葉が展開中。(6月19日付) (北秋田) 6月10日現在の草丈は24.9cm(平年比97%)、葉数は228本/m ² (同比115%)となっており、生育は平年より2日程度早く進んでいる。(6月12日付) (山本) 6月25日現在の生育状況は、草丈37.5cm(平年比101%)、葉数454本/m ² (同比116%)、葉数8.7(同差+0.1葉)、葉色43.3(同比98%)で、平年に比べ草丈は平年並、葉数は多め、葉数は平年並、葉色はやや薄め。(6月22日付) (仙北) 6月10日現在、草丈24.1cm(平年比98%)、葉数131本/m ² (平年比90%)、葉数5.9葉(平年比+0.1葉)となっている。草丈、葉数は平年並みの生育となっているものの、葉数は平年を下回っている。(6月12日付) (平鹿) 6月25日に行った水稲生育定額調査(あきたこまち11か所)の結果では、草丈が35.5cm(平年比99%)、葉数が435本/m ² (118%)、葉数は8.9葉(平年差+0.6葉)、葉色42.3(平年比96%)となっており、生育は平年をやや上回っている。(6月26日付) (雄勝) 6月10日の調査の結果(管内8ヶ所平均)は、草丈24.9cm(平年比102%)、1m ² あたり葉数136本(同124%)、葉数5.8葉(平年差+0.2葉)となっている。(6月12日付) (秋田県農林政策課)	・7月の葉いもちの発生時期は平年並、発生量ははやいと予報 紋枯病の発生は多く、斑点米カメムシ類の発生量ははやいと予報 (秋田県病害虫防除所 6月25日公表)

生育状況等	
山形	<p>(生育) - 6月30日現在、平坦部「はえぬき」の生育は、草丈は平年並みで、葉数が多く、葉色はやや多く、葉色は平年並みとなっている。幼種の検閲調査では、出穂は平年より2日程度早いと予想している。草丈は44.4cm(平年比98%)、葉数は713本/m²(平年比116%)、葉数は9.5枚(平年差+0.4枚)、葉色は42.7(平年差+0.2)。</p> <p>6月30日現在、「つや姫」の生育は、草丈はやや多く、葉色は平年並み(指標よりやや濃い)、生育はやや進んでいる(指標並み)。草丈は44.7cm(平年比97%)、葉数は568本/m²(平年比106%)、葉数は9.3枚(平年差+0.3枚)、葉色は41.6(平年差-0.1)。(オールやまがた米づくり日本一運動、県産米ブランド推進課 6月30日付)</p> <p>(最上) 6月30日現在、生育診断圃の生育は平坦部で2日程度進んでいる。中山間のあきたこまちでも同様に進んでおり、幼種の分化が確認されている。いずれの圃場でも平年より葉数が多い状況。出穂時期は平年より2日程度早まる見込み。(最上総合支庁 7月2日付)</p> <p>「つや姫」の生育は順調。早生・中生品種の出穂時期は平年より2日程度早まり、「つや姫」の出穂時期も同様に早まると予想される。(最上総合支庁 7月2日付)</p> <p>(酒田飽海) 6月30日現在の生育診断圃の生育は、草丈はやや長く、葉数は多く、葉色はやや進み、葉色は平年並み。水田農業試験場(鶴岡市蔵島)の早生～中生品種の幼種調査(6月29日)によると、早生～中生品種の今年の出穂は平年より1～2日早まると予測。湛水直播(鉄コーティング直播)は、中干しの時期に入った。(酒田農業技術普及課7月2日付)</p> <p>6月30日現在の「つや姫」の生育は、葉色が濃く、葉数過剰のほ場がみられる。草丈は平年並～短く、葉数は平年並～多く(600本以上あり)、葉数の展開は1～2日早く、葉色は平年並～濃い(40以上あり)。(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 7月2日付)</p> <p>(庄内) 平坦部の生育は平年より進んでいる。つや姫は中干し開始時期に至っている。(庄内総合支庁農業技術普及課 6月23日付)</p> <p>(置賜) 6月19日現在の生育は「草丈、やや短く」、「葉数：並みからやや多い」、「葉色：並みから濃い」状況。圃場よりほ場間の生育差が大きい。(オールやまがた米づくり日本一運動置賜地域本部 6月22日付)</p> <p>(北村山) 6月19日現在、生育は順調。草丈は平年並、葉色はやや濃いところが多くなっている。葉数は平年より多く、生育は2日から3日程度進んでいる。葉数は、例年以上に圃場間の差が大きくなっており注意が必要と指導。(村山総合支庁北村山農業技術普及課 6月22日付)</p> <p>(東南村山) 全般的に葉色がやや濃い状況。葉数が過剰にならないよう6月中旬に中干しを始めるよう指導。(村山農業技術普及課 6月24日付)</p>
福島	<p>(郡山) 6月19日現在の23ほ場の調査結果では、平坦部では草丈が平年並み、葉数は平年並みだが、ほ場によってバラツキがみられる。湖南地区は草丈は平年並み、葉数は平年より多くなっている。(郡山市農作物生産対策協議会 6月19日付)</p> <p>(生育) 田植え作業は、始期(5%終了)、盛期(50%終了)が平年より1日早く、それぞれ5月8日、5月15日で、終期(95%終了)は平年並の5月25日となった。活着は概ね良好で、本田での初期生育は、分けつが発生が平年並から多く、主理出葉が平年より早まっている。直播栽培は、4月下旬から播種作業が始まり、5月下旬でほぼ終了した。出芽と苗立は良好。(福島県農林水産部 6月3日付)</p> <p>(会津・喜多方) 天候にも恵まれたため、田植え作業は平年より早かった。軟弱苗や高温により、植え痛みや葉先枯れなどの除草剤による葉害が発生したほ場が散見されたが、その後、回復している。(福島県喜多方農業普及所ほか 6月5日公表)</p>
茨城	<p>(水戸市) 6月30日現在、幼種の発育程度から予測される出穂期は、5月1日に移植した「あきたこまち」で平年より1日早く、コシヒカリで4日早い。平年に比べ、草丈は「あきたこまち」でやや短く、「コシヒカリ」で並、葉数は両品種ともやや少なく、葉色は「あきたこまち」で並、「コシヒカリ」で淡い。5月11日に移植した「コシヒカリ」の主理葉数の展開からみた生育は平年より8日程度進んでいる。平年に比べ草丈及び葉数は並、葉色はやや淡い。(7月2日付)</p> <p>(生育) (龍ヶ崎市) 6月26日現在、幼種の発育程度から予測される出穂期は、4月27日移植の「あきたこまち」は7月12日で、平年より3日早く、「コシヒカリ」は7月23日で平年より2日早い。平年に比べ草丈は両品種ともやや長く、葉数は「あきたこまち」がやや多く、「コシヒカリ」が並。葉色は「あきたこまち」がやや淡い～淡く、「コシヒカリ」が淡い。5月7日移植の「あきたこまち」の出穂期は7月18日で平年並、主理葉数の展開からみた「コシヒカリ」の生育は、4～5日進んでいる。平年に比べ、両品種の草丈はやや長く、葉数は並、葉色は淡い。(6月30日付)(茨城県農業総合センター農業研究所)</p>
栃木	<p>(生育) 幼種分化が確認され、6月24日現在の出穂期予測は、宇都宮市で5～6日、大田原市で4日程度、平年より早いと推定される。6月22日調査(16か所平均)の結果、早播栽培のコシヒカリの草丈は54.4cmで平年比107%と長く、葉数は533本/m²で平年比96%とやや少ない。葉数は9.9で平年並、葉色は4.1で平年差-0.4と淡い。葉齢から判断して、生育は平年並と考えられる。生育診断値(葉色×葉数)は2.138で平年比88%と小さい。(栃木県 6月26日付)</p>
埼玉	<p>(生育) 6月8日現在、センター内生育相では、早期栽培(5月1日植 コシヒカリ)の苗は充実度の高い良苗が得られ、活着は良好。分けつが発生や葉位の進展が早く推移しており、生育量は平年よりかなり多くなっている。早播栽培(5月20日植 彩のかがやき)の苗は充実度の高い良苗が得られた。活着や生育は概ね順調。県内全般の早期、早播栽培は概ね平年並に移植が行われた。苗の生育は高温のためやや徒長気味で、極一部に高温障害が見られた。生育はセンター内同様、活着は順調で旺盛な生育である。(埼玉県農業技術研究センター 6月8日現在)</p>
千葉	<p>(生育) 4月20日頃に移植した「コシヒカリ」は、「ふさおとめ」「ふさこがね」と同様、県内の多くのほ場で平年より10日程度早く幼種形成期を迎えた。ただし、6月中旬の低温の影響により、地域による生育進捗の差が見られる。5月1日頃に移植した「コシヒカリ」は、平年より3日から5日程度早く幼種形成期を迎えると予測される。「コシヒカリ」の草丈、葉色は平年並みだが、4月20日頃に移植した葉数はやや多い傾向となっている。(千葉県農林水産部 6月26日付)</p>
	<p>7月の葉いもちの発生量は平年並、稲こうじ病と斑点米カメムシ類の発生量は多い予報(山形県病害虫防除所 7月1日公表)</p> <p>斑点米カメムシ類が、水田畦畔で平年より多く確認されている。気温は平年並に推移すると予想されており、斑点米カメムシ類の活動が活発になると推測される。(福島県病害虫防除所 6月30日公表)</p> <p>イネミズゾウムシやイネドロオウムシの発生は、平年に比べやや少ない状況。(郡山市農作物生産対策協議会 6月19日付)</p> <p>7月の葉いもちの発生量は、県下全域で平年並～やや多い予報。斑点米カメムシ類の発生量は、県下全域でやや多く、発生時期はやや早い予報。(茨城県病害虫防除所 7月2日公表)</p> <p>綿葉枯病ウイルスのヒメトビウカの保毒率が高いことから注意を喚起(茨城県病害虫防除所 6月18日公表)</p> <p>関東では綿葉枯病の発生が多く、イネミズゾウムシの発生がやや多いと予想(農林水産省 6月23日付)</p> <p>6月下旬のイネ科雑草を対象にした発生調査では、斑点米カメムシ類全体としては平年並の発生頭数が確認され、特にカスミカメ類では調査地点の80%以上で確認。今後、イネ科雑草等が出穂期を迎えると、水田への飛来が増加する可能性があるため注意が必要。(栃木県農業環境指導センター 7月1日公表)</p> <p>7月の綿葉枯病の発生量は多いと予報(栃木県農業環境指導センター 6月19日公表)</p> <p>7月の葉いもちの発生量はやや多、紋枯病及びヒメトビウカの発生量は平年並、綿葉枯病の発生量は多、ツマグロヨコバイの発生量は平年並、ニカメイチュウ及び斑点米カメムシの発生量はやや多、イネゾウムシの発生量は少、セジロウカハの発生量は少、イネアトムシの発生量はやや多の予報(埼玉県病害虫防除所 6月29日公表)</p> <p>関東では綿葉枯病の発生が多く、イネミズゾウムシの発生がやや多いと予想。南関東では紋枯病とニカメイガ、ヒメトビウカの発生がやや多いと予想(農林水産省 6月23日付)</p> <p>向こう1か月間の発生量は、いもち病は平年並、紋枯病はやや多、イネドロオウムシは平年並、イネクロカメムシは多、ヒメトビウカは多、セジロウカハは平年並、コバネイナゴは多の予報(千葉県農業総合研究センター 6月10日公表)</p>

生育状況等		
新潟	<p>- 6月30日現在の生育状況は、コシヒカリ・こしいぶきとも、県平均では指標値（生育のめやす）に比べ、葉数の進みは「やや早い」、葉数は「やや多い」、草丈・葉数は「平年並み」。地域別には、村上、新発田、長岡、南魚沼、上越で多く、草丈は上越で長く、葉数は新潟、新潟・糸魚川で深い状況。 （新潟県農林水産部 7月1日付）</p> <p>(生育) (岩 船) 6月30日現在、草丈の伸長や葉数の進みが緩やかになり、葉色が淡くなってきている。草丈はやや短く、葉数は平年並〜多く、葉数はやや早く、葉色はやや濃い。早生品種は、幼穂が確認され始めている（連休後新潟県産：3〜5mm程度）。（村上農業普及指導センター 6月30日現在）</p> <p>(新発田) 6月30日現在のコシヒカリは、草丈は53cmで指標比107%（やや長）、葉数は530本/m²で指標比118%（多）、葉数は10.4葉で指標比+0.7葉（多）、葉色は葉緑素計39.5で指標比+1.0（やや濃）。葉数の進みは、平年に比べ3〜4日程度早めとなっているが、出穂は平年並（5/10移植コシヒカリ-8/8出穂）と予想される。 （新潟県農業普及指導センター 6月30日付）</p> <p>(新潟) 6月30日現在、指標値と比べてコシヒカリの生育は、草丈・並、葉数：やや多、葉齢：並、葉色：淡い。こしいぶきの生育は、草丈：やや長、葉数：やや多、葉齢：やや早、葉色：並。出穂期は平年より2日程度早まる予想で、こしいぶきは7月20日頃出穂、コシヒカリは8月4日頃出穂の見込み。（新潟県農業普及指導センター 6月30日付）</p> <p>(新潟) 6月30日現在の生育状況は、指標値と比べて草丈はやや短く、葉数はやや少なく、葉色はやや濃い。 出穂期は、平年より2日早い見込み（6月5日頃出穂）で、こしいぶきは7月28日、コシヒカリは8月4日と予想。 （新潟県農業普及指導センター 6月19日付）</p> <p>(三条) 6月30日現在、コシヒカリは指標値に比べ葉数は少なめ、葉色はやや淡く、特に早播えのほ場では葉色の低下が目立つ。こしいぶきの生育は、ほぼ指標値並で順調。（三条農業普及指導センター 6月30日付） 早生品種の生育は地域差・ほ場間差が大きい。出穂期は、ゆきん子舞は7月25日、こしいぶきは7月28日、わたぼうしは7月22日、五百万石は7月21日と予想。（三条農業普及指導センター 7月1日付）</p> <p>(柏崎) 6月30日現在、平坦地コシヒカリは指標値と比べ、草丈・並、葉数：やや多、葉色：並。中山間地コシヒカリも、平坦地と同様に生育している。こしいぶきは指標値と比べ、草丈：やや長い、葉数：多。生育は1〜2日早まっている。 （柏崎農業普及指導センター 7月1日付）</p> <p>(柏崎・羽羽) 6月24日調査の結果、こしいぶきの出穂は平年より1〜2日早まる見込み。田植え5月7日の出穂は7月27日の予測で、1日早い見込み。秋播早生、新潟県産などの早生品種では、2mm程度の幼穂が確認され、平年より1〜2日生育は早まっている。（柏崎地場農業振興協議会 6月26日付）</p> <p>(長 岡) 6月30日現在、5月中旬以降の平均気温が平年より高く推移し、日照時間も多かったことから生育ステージは早まっている。コシヒカリの生育（定食調査ほ7カ所）は、指標値に比べ草丈98%、葉数119%、葉数+1.2、葉色-1.0（SPAD値）である。 （長岡農業普及指導センター 6月30日付）</p> <p>(南魚沼) 6月30日現在のコシヒカリの生育状況は、草丈は45cm（指標値比93%）で「並」、葉数は558本/m²（同比123%）で「多」、葉色はSPAD値38.7（同差-0.8）で並、葉数は10.0葉でやや多い（同差+0.7）。出穂期は平年に比べて3〜8日程度早くなる見込み。（南魚沼農業普及指導センター 6月18日付）</p> <p>(十日町) 平坦地、高標高地の草丈は平年並、葉数は平年並〜やや多く、葉齢はやや早く、葉色は平年並。台地の草丈の平年並、葉数はやや多く、葉齢はやや早く、葉色は平年並。出穂期は、平坦地で2日から1日早く、高標高地で平年より1日早い見込み。（十日町農業普及指導センター 7月1日付）</p> <p>(上 越) 6月30日現在のコシヒカリの生育（指標値比）は、草丈：長い（112%）、葉数：多い（126%）、葉数：多い（+0.9葉）、葉色：並（葉色値-0.1）、こしいぶきの生育（指標値比）は、草丈・葉数は並、葉色は濃くなっている。 （上越農業普及指導センター 6月30日付）</p> <p>(佐 渡) 6月18日現在のコシヒカリは、指標値に比べ草丈・葉数は並、葉色はやや濃く、生育は3日程度早い。草丈は37cm（指標値比100%）、葉数は413本/m²（同比98%）、葉数は9.1枚（同差+0.5枚）、葉色（SPAD）は40.9（平年差+1.9）。 （佐渡農業普及指導センター 6月18日付）</p> <p>(糸魚川) 6月30日現在、平年と比べて、草丈は並、葉数は多い、葉数はやや多い〜多い、葉色は淡い状況。葉数の進みが早く、出穂期は平年と比べて1〜2日早くなる見込み。（糸魚川農業普及指導センター 7月1日付）</p> <p>(巻) 6月18日現在、草丈は指標比「短」、葉数は指標比「やや早」（2〜3日程度）、葉数は指標比「やや多」（ほ場間差大）、葉色は指標比「並」。早生の出穂は平年に比べて2日程度早い見込み。（巻農業普及指導センター 6月18日付）</p> <p>(魚 沼) 移植後の好天により、初期生育は順調。（JA北魚沼・魚沼農業普及指導センター 6月10日付）</p>	<p>・ 7月の葉いもちの発生量はやや少、発生時期は平年並、斑点米カメムシ類の発生量は多、発生時期はやや早 ニカメイチュウ、セジロウシカ、ツマグロヨコバイ、紋枯病の発生量は平年並の予報。 （新潟県病害虫防除所 7月1日公表）</p> <p>・ 6月下旬の病害虫発生予察調査では、カメムシの発生が多く なっている。 （三条農業普及指導センター 6月25日付）</p>
富山	<p>- 生育観測ほデータ（6月30日現在） （コシヒカリ）草丈・葉数・葉齢、葉色とも平年並。生育量（草丈×m²葉数×葉色÷1000）の平均値は、129と平年並であるが、96から163とばらつきが大きい。幼穂形成期は、平年より1日程度早い7月12日頃と見込まれる。 （てんたかく）平年に比べ、葉齢はやや遅く、草丈はやや長く、葉数はやや多く、葉色は平年並。幼穂形成期は、平年より4日早い8月27日となった。出穂期は、7月19日頃と見込まれる。 （てんこもり）草丈・葉齢は平年並、葉数は少なく、葉色はやや淡くなっている。幼穂形成期は、平年より1日程度早い7月16日頃と見込まれる。 （富山県農業技術課 広域普及指導センター 6月30日付）</p> <p>- 直播情報（6月29日現在） 湛水水中直播栽培（カルパー）の生育は、平年に比べ、葉齢は進んでおり、草丈は長く、葉数はやや多く、葉色はやや濃くなっている。一部の調査ほで最高分けつ期を過ぎ、無効分けつ期を過ぎている。 乾田V清直播栽培の生育は、草丈は48.9cm、葉数は577本/m²、葉齢は9.8、葉色は4.3であった。昨年に比べて、葉齢はやや進んでおり、草丈は長く、葉数は平年並となっている。 （富山県農業技術課 広域普及指導センター 6月29日付）</p>	<p>・ 7月のいもち病、紋枯病、福こじ病の発生量は多く、紋枯病の発生時期は早い予報。ニカメイガの発生量は多く、斑点米カメムシ類は多い〜平年並。 その他の害虫の発生量は少ない〜やや少ない予報。 （富山県農林水産総合技術センター 7月1日公表）</p>
石川	<p><6月29日調査結果> 出穂期 ゆめみづほは近年より3〜4日程度早く、加賀地域では7月14〜19日頃、能登地域では7月19〜23日頃と予想される。 葉齢 コシヒカリの葉齢は、10.7葉（平年10.5葉）となっており生育は2日程度早い。加賀地域の生育の早い圃場では幼穂が確認されている。（幼穂長0.1〜0.5mm） 草丈 コシヒカリは平年比105%（加賀地域104%、能登地域106%）と平年並、ゆめみづほは近年比109%（加賀地域108%、能登地域112%）と、近年に比べ加賀地域はやや長く、能登地域では長くなっている。 葉数 コシヒカリは、平年比95%（加賀地域95%、能登地域96%）と平年並、ゆめみづほは近年比97%（加賀地域98%、能登地域96%）と近年並となっている。県下の調査地点の内、コシヒカリの約9割、ゆめみづほの約9割で最高分けつ期を経過している。 葉色 コシヒカリの葉色は4.2（葉色指数）と低下傾向にあり平年並となっている。 （石川県農林総合研究センター 6月29日調査）</p>	<p>・ 紋枯病の初発が平年より早いと、常発地や前年生育ほ場、葉数の多いほ場では多発する可能性。いもち病感染好適日の出現が多くなっており、斑点米カメムシ類の発生が多くなっている。 （石川県農林総合研究センター 6月29日公表）</p>
福井	<p>- 6月25日の水稲調査の結果は、コシヒカリの生育は平年並、直播は草丈短め、過剰だった分けつは治まりつつある。ハナエチゼンの葉数は平年より少なく、幼穂形成期は試験場で6月25日（平年より3日早い）。 （水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月26日付）</p>	<p>・ 6月下旬の水田圃間雑草地における斑点米カメムシ類の生息密度は、平年・前年より非常に多く、特にカスミメシ類の発生が多くなっている。既に水田内への侵入もみられている。 （福井県農業試験場 6月30日公表）</p>
長野	<p>・ 6月15日現在、豊利定点圃場では、草丈は平年よりやや長く、葉数は平年より多い傾向。5月上旬〜中旬までの移植では、活潑〜初期生育は良好で、6月上旬に移植された水田では、過剰分けつ気味の水田もある。 早生種（あきたこまち等）の出穂は平年より2日程度早く、コシヒカリの出穂は平年並みかやや早いと予想される。平坦地で「あきたこまち」を5月上旬に移植したほ場では、6月下旬より幼穂形成期を迎えることが予想される。</p> <p>・ 高温によるガスわきで、根の腐みから葉が黄化しているほ場も見られる。 （松本農業改良普及センター 平成27年作物技術普及情報第9号）</p>	<p>・ 6月中旬〜7月中旬の葉いもちの発生量は平年並、ニカメイチュウの発生量はやや少、ヒメトビウカの発生量は平年並、イナゴの発生量は平年並、ツマグロヨコバイの発生量は平年並、イネトビウカの発生量は平年並、イネミズゾウムシの発生量はやや少と予報。（長野県病害虫防除所 6月15日公表）</p>
滋賀	<p>・ 生育は全般にかなり旺盛だが、移植日やほ場条件により差は大きい。生育の遅速は平年並で、「コシヒカリ」では、5月10日移植の幼穂形成期は、7月4日頃と予測される。 6月19日現在、初期生育は順調で分けつ増加速度はかなり早かったが、6月に入ると低温傾向となり、生育速度は鈍化している。 草丈は「コシヒカリ」が平年並、「秋の詩」が平年よりやや短かった。 葉数は、「コシヒカリ」、「秋の詩」ともに平年より1〜2割多い。 葉色は「コシヒカリ」、「秋の詩」とも平年並であった。 葉数は「コシヒカリ」が平年並、「秋の詩」が平年より0.2枚少なかった。 （みずかがみ） 4月下旬移植は、すでに幼穂形成期を迎えている（6月21日前後）。 5月上旬移植は、幼穂形成期は6月26日前後（23〜28日）になると予想される。 5月中旬以降移植は、幼穂形成期は6月末以降になると予想される。 （滋賀県農業技術普及センター 6月26日付）</p>	<p>・ 7月の葉いもちの発生時期・量は平年並、紋枯病の発生時期は平年並、発生量はやや多、コバネイナゴの発生時期はやや早く発生量はやや少、イネクロカメムシの発生量はやや少の予報 （滋賀県病害虫防除所 6月23日公表）</p> <p>・ 近畿ではいもち病、イネミズゾウムシ、ヒメトビウカの発生がやや多いと予想（農林水産省 6月23日付）</p>

生育状況等	
兵 庫	<p>・6月26日現在、県全体では、葉齢は平年並～やや進展が遅い、草丈は平年並～やや長い。茎数は平年よりやや少ない。 県北では、葉齢は平年並、草丈はやや低いが茎数は平年よりかなり多い。 (生育) (兵庫県農政環境部 6月30日付)</p>
岡 山	<p>・7月の綿葉枯病の発生量はやや多、葉いもち、穂いもち、紋枯病の発生は平年並の予報。斑点米カメムシ類の発生量は少なく、ヒメトビウカ、ニカメイガは平年並、ツマグロヨコバイは少なく、セジロウカはやや少ない予報。 (岡山県 7月1日公表)</p>
広 島	<p>・中国地方ではいもち病、綿葉枯病、ニカメイガ、ヒメトビウカの発生がやや多いと予想(農林水産省 6月23日付)</p>
山 口	<p>・各品種とも、おおむね過去の平均と同程度の生育状況となっている。コシヒカリ、ひとめぼれでは、最高分け時期が近づき、分けつは発生は鈍化してきている。出穂期は、5月上旬移種が7月29日頃、5月中旬～下旬移種は8月3日頃。 6月移種のヒノヒカリでは、中旬以降の豪雨天等の影響で、茎数がやや少ないところが見られる。 (長門農林事務所農産部、JA長門大津、7月1日付)</p>
愛 媛	<p>・7月は、5月以降に田植えした極早生品種のコシヒカリ、あきたこまちは穂穂の時期にあたる。その適期を、幼穂長を目安に判断するよう指導。普通期水稲では浅水管理を基本とし、根の健全化を図るよう指導。 (愛媛県農林水産研究所 7月2日公表)</p>
高 知	<p>・早期水稲の生育状況(5月29日時点) (南国そたち) 4月6日植えでは、草丈は平年より長く、茎数がやや少なく、葉齢(以下生育進捗)は平年並み。幼穂形成期は5月20日で、平年より3日早くなった。 (コシヒカリ) 4月6日植えでは、草丈は平年より長く、茎数がやや少なく、生育進捗はやや遅れている。4月14日植えでは、草丈は平年より長く、茎数がやや少なく、生育進捗はやや進んでいる。 (高知県農業技術センター)</p> <p>・轄管内の5月の早期稲(コシヒカリ)は最高分け時期から分けつ終期となっている。4月下旬以降、気温・日照時間とも平年よりやや高めに推移していて、若干遅れ気味であった生育も平年並みとなっている。 普通期稲は、主力となるヒノヒカリの田植えが始まった。苗の生育は概ね順調であった。 (轄多農振センター農業改良普及課 5月28日付)</p>
福 岡	<p>・早期水稲(コシヒカリ、夢つくし)の生育は順調で、中干し時期を迎えている。病害虫の発生は少なく、出穂期は平年より2～3日早い7月中旬の見込み。 普通期水稲は、5月中旬～6月上旬植えは田植え後の高温により生育は順調。麦収穫後の田植えが始まり、平坦地の「夢つくし」は6月上旬、「新夢つくし」は6月中旬、「ヒノヒカリ」は6月下旬が田植え最盛期となる見込み。 (福岡県農林業総合試験場 6月15日付)</p>
熊 本	<p>・7月 早期水稲 穂いもちの発生量はやや多、早植え水稲の葉いもちの発生量はやや多、セジロウカの発生量は平年並の予報。 普通期水稲 葉いもちの発生量はやや多、セジロウカの発生量は平年並の予報。 (熊本県病害虫防除所 6月30日公表)</p>
宮 崎	<p>・6月中旬の早期水稲の生育ステージは穂ばらみ期、普通期水稲は移種前後。 (宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 6月29日付)</p> <p>・平成27年産早期米生育状況(4月下旬) 早期米の生育状況は、活着期～分けつ期を迎えている。育苗については2月上旬は平年に比べ気温が低く推移し、発芽等心配されたが、2月下旬より気温がやや高く推移したため、播種最盛期は平年並みに回復し、しっかりとした健苗の育成ができた。田植えについては、宮崎県では3月25日に最盛期を迎えた。3月下旬は気温も高くなり、安定した好天に恵まれ、田植えは平年並みの時期に行われた。田植え後の4月上旬は、天候が悪く、やや軟弱徒長気味の生育のものもあったが、強風等の被害はなく、概ね順調に生育している。葉齢は平年並み、草丈は平年より長く、茎数は平年より多くなっており、生育は平年並みからやや早い状況。(5月12日付)</p> <p>・早期水稲 4月20日現在の生育ステージ (県全体) 活着期～分けつ前期。平年よりやや早い進捗。4月上旬の日照不足により、やや軟弱徒長気味の生育となっているものが一部見られたものの、強風等の被害はなく概ね順調に生育している。 (中部地区) 活着期～分けつ前期。平年より1日早い進捗。育苗期間中は、2月上旬気温が低い日が続き発芽等心配されたが、2月下旬はやや気温が高く推移し、健苗が育成された。移種後は、日照不足の影響により、一部でやや軟弱徒長気味となっているが、概ね順調に生育している。4月14日の調査では、草丈は平年より高く、茎数も平年よりやや多く、葉齢は平年より0.2程度進んでいる。 (南那珂地区) 分けつ前期で、平年より3日程早い進捗。移種後の天候に恵まれ、活着は順調。4月上旬の高温・霧照で一部、軟弱徒長気味の生育となっている。気温が高かったことで、概ね順調に生育している。葉齢は平年より1.3程度進んでいる。 (児湯地区) 活着期～分けつ前期で、平年より1日早い進捗。移種最盛期はほぼ平年並みの3月27日。4月上旬の日照量が少なく一部で軟弱徒長気味ではあるが、平年より気温が高く、生育はやや進んでいる状況。 (東臼杵南部地区) 活着期で、平年並みの進捗。田植え最盛期は平年並みの4月5日。4月上旬の日照量が少なく一部で軟弱徒長気味だが、平年より気温が高く、生育は順調に進んでいる状況。 (JA宮崎経済連ホームページ「宮崎県早期米産地情報」5月12日付)</p>
鹿 児 島	<p>・7月 早期水稲 いもち病の発生量はやや多く、斑点米カメムシ類は平年並、紋枯病は少ない予報。 普通期水稲 いもち病の発生量はやや多い予報 (鹿児島県病害虫防除所 6月30日公表)</p>

注1：地方自治体及び出先機関並びにJA等がホームページで公表している資料を本数値情報提供部で取り纏め。
注2：生産数量目標、収穫量、作況については、農林水産省の公表資料から抜粋。

道府県	備考 気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）	生産数量目標				収穫量（主食用） 26年度	作況指数 26年度
		参考		増減率	自主的取組参考値（深堀）		
		平成27年度	前年度との比較				
		t	t	%	t	t	
全国	<p>・7月4日～8月3日の1か月間は、西日本では南からの湿った気流の影響を受けやすいため、太平洋側を中心に曇りや雨の日が多い見込み。降水量は西日本太平洋側で多く、北日本と東・西日本日本海側、沖縄・奄美で平年並か多い見込み。東日本日本海側では、南から暖かい空気が流れ込みやすく、期間の前半は気温がかなり高くなる可能性がある。（気象庁 7月2日発表）</p> <p>（7～9月の3か月の見通し）</p> <p>・気温は、北・東・西日本では、ほぼ平年並の見込み。</p> <p>・降水量は、北日本ではほぼ平年並、東・西日本では平年並か多い見込み。（気象庁 6月24日発表）</p> <p>・エルニーニョ現象が続いており、強まりつつある。今後、冬にかけてエルニーニョ現象が続く可能性が高い。（気象庁 6月10日公表）</p>	7,510,000	▲ 140,000	▲ 1.8	7,390,000	7,882,000	101
北海道	<p>・北海道地方の7月4日～8月3日の1か月間は、日照時間は平年並か多い見込み。平均気温は平年並か高く、降水量はほぼ平年並の見込み。（札幌管区気象台 7月2日発表）</p>	547,330	▲ 6,810	▲ 1.2	538,580	597,200	107
青森	<p>・東北地方の7月4日～8月3日の1か月間は、期間の前半を中心に気温が高く、平均気温も高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。（仙台管区気象台 7月2日発表）</p>	242,460	▲ 4,540	▲ 1.8	238,580	257,400	104
岩手	同上（仙台管区気象台 7月2日発表）	271,210	▲ 4,330	▲ 1.6	266,880	287,700	105
宮城	同上（仙台管区気象台 7月2日発表）	348,620	▲ 14,010	▲ 3.9	343,050	379,600	105
秋田	同上（仙台管区気象台 7月2日発表）	417,540	▲ 15,500	▲ 3.6	410,860	453,000	104
山形	同上（仙台管区気象台 7月2日発表）	344,500	▲ 14,070	▲ 3.9	338,990	380,700	105
福島	同上（仙台管区気象台 7月2日発表）	339,550	▲ 8,870	▲ 2.5	334,130	350,600	104
茨城	<p>・関東甲信地方の7月4日～8月3日の平均気温は高く、降水量及び日照時間はほぼ平年並の見込み。期間の前半は曇りや雨の日が少なく、気温は高くなり、後半は晴れの日が少ない見込み。（気象庁 7月2日発表）</p>	337,370	▲ 4,180	▲ 1.2	331,980	396,200	105
栃木	同上（気象庁 7月2日発表）	298,690	▲ 10,640	▲ 3.4	293,920	313,700	100
埼玉	同上（気象庁 7月2日発表）	151,270	▲ 1,410	▲ 0.9	148,850	169,800	102
千葉	同上（気象庁 7月2日発表）	246,490	▲ 2,790	▲ 1.1	242,550	325,300	104
新潟	<p>・北陸地方の7月4日～8月3日の平均気温は高く、降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。期間の前半は、気温がかなり高くなる可能性がある。</p> <p>・北陸地方では、7月7日頃からの1週間、気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。（7日平均地域平年差+2.2℃以上）（新潟地方気象台 7月2日発表）</p>	521,290	▲ 14,350	▲ 2.7	512,960	576,000	101
富山	同上（新潟地方気象台 7月2日発表）	185,650	▲ 6,690	▲ 3.5	182,680	193,100	101
石川	同上（新潟地方気象台 7月2日発表）	123,630	▲ 2,770	▲ 2.2	121,650	123,400	98
福井	同上（新潟地方気象台 7月2日発表）	125,460	▲ 2,670	▲ 2.1	123,460	126,000	98
長野	<p>・関東甲信地方の7月4日～8月3日の平均気温は高く、降水量及び日照時間はほぼ平年並の見込み。期間の前半は曇りや雨の日が少なく、気温は高くなり、後半は晴れの日が少ない見込み。（気象庁 7月2日発表）</p>	194,000	▲ 2,640	▲ 1.3	190,900	195,800	96

気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）		t	%	t	t		
滋 賀	・近畿地方の7月4日～8月3日の平均気温は、1週目が平年並か低く、2週目は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は日本海側でほぼ平年並、太平洋側では平年並か少ない見込み。 （大阪管区気象台 7月2日発表）	160,450	▲ 2,930	▲ 1.8	157,880	157,100	97
兵 庫	同上（大阪管区気象台 7月2日発表）						
岡 山	・中国地方の7月4日～8月3日の平均気温は、1週目が平年並か低く、2週目は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 （広島地方気象台 7月2日発表）	180,440	▲ 1,490	▲ 0.8	177,560	177,800	97
広 島	同上（広島地方気象台 7月2日発表）						
山 口	・九州北部地方（山口県含む）の7月4日～8月3日の平均気温は、1週目が平年並か低く、2週目は平年並か高い見込み。降水量は多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 降水量の多い状態が続いているところがあり、今後も平年に比べ曇りや雨の日が多い見込み。 （福岡管区気象台 7月2日発表）	129,970	▲ 160	▲ 0.1	127,890	123,300	95
愛 媛	・四国地方の7月4日～8月3日の平均気温は、1週目が低く、2週目は平年並か高い見込み。降水量は多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 （高松地方気象台 7月2日発表）	108,760	▲ 2,060	▲ 1.9	107,020	103,800	96
高 知	同上（高松地方気象台 7月2日発表）						
福 岡	・九州北部地方（山口県含む）の7月4日～8月3日の平均気温は、1週目が平年並か低く、2週目は平年並か高い見込み。降水量は多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 降水量の多い状態が続いているところがあり、今後も平年に比べ曇りや雨の日が多い見込み。 （福岡管区気象台 7月2日発表）	50,070	20	0.0	49,270	55,600	95
熊 本	同上（福岡管区気象台 7月2日発表）						
宮 崎	・九州南部地方の7月4日～8月3日の平均気温は、1週目が低く、2週目は平年並の見込み。降水量は多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 （鹿児島地方気象台 7月2日発表）	189,310	▲ 610	▲ 0.3	186,290	180,500	97
鹿 児 島	同上（鹿児島地方気象台 7月2日発表）						
		93,600	▲ 870	▲ 0.9	92,100	84,600	98
		111,070	▲ 470	▲ 0.4	109,290	102,300	95

参考資料:

平成27年産米の都道府県別の生産数量目標について(農林水産省)
平成26年産水陸稲の収穫量(農林水産省)
平成27年度病害虫発生予報第3号(農林水産省)

農作物の生育状況 6月15日現在(北海道 6月19日)、農作物生育状況 6月15日現在(北海道空知総合振興局 6月19日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道石狩振興局 6月19日)、農作物の生育状況 6月15日現在(北海道後志総合振興局 6月19日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道胆振総合振興局 6月19日)、農作物の生育状況 6月15日現在(北海道日高振興局 6月19日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道渡島総合振興局 6月19日)、農作物の生育状況 6月15日現在(北海道檜山振興局 6月19日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道上川総合振興局 6月19日)、農作物生育状況調査の概要 6月15日現在(北海道留萌振興局 6月19日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 6月15日現在(北海道オホーツク総合振興局 6月19日)、
病害虫発生予察情報第6号7月予報(北海道病害虫防除所 6月30日)、
作況調査報告(6月30日現在)(青森県産業技術センター農林総合研究所 7月1日)、
平成27年度病害虫発生予報第4号(7月予報)(青森県病害虫防除所 7月2日)、
平成27年度水稲の生育状況(6月25日調査速報)く岩手県中央農業改良普及センター 県域普及グループ 6月26日)、
平成27年度水稲生育定期調査結果 No.3 (6月25日現在)(岩手県農業研究センター 6月29日)、平成27年度病害虫発生予察情報発生予報第4号(岩手県病害虫防除所 6月30日)、
平成27年産水稲の生育状況について(7月1日現在)(宮城県農林水産部 7月2日)、
仙台直播情報稲作情報平成27年度版第2号(仙台農業改良普及センター 7月2日)、平成27年産産稲作技術情報第6号(宮城県大崎農業改良普及センター 7月2日)、
登米地域の稲作通信第5号(登米農業改良普及センター 7月2日)、稲作情報Vol.4(石巻農業改良普及センター 7月3日付)、
稲作情報Vol.6(本吉農業改良普及センター 7月2日)、平成27年度稲作情報第2号(亶理農業改良普及センター 6月17日)
平成27年産仙南稲作情報(第3号)(宮城県大河原農業改良普及センター 6月19日)、
平成27年産美里地区の稲作情報第3号(宮城県美里農業改良普及センター 6月12日)、栗原の稲作通信平成27年第3号(栗原農業改良普及センター 6月23日)、
平成27年度発生予察情報発生予報第5号-水稲-(宮城県病害虫防除所 6月23日)、
生育状況の情報(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」http://www.e-komachi.jp/ 7月3日)、
平成27年度農作物病害虫発生予察情報発生予報第3号(7月予報)(秋田県病害虫防除所 6月25日)、
米づくり技術情報NO.4(山形県産米ブランド推進課 7月1日)、稲作だより第8号穂肥編つや姫情報第3号(最上総合支庁 7月2日)、
酒田飽海つや姫情報第5号(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 7月2日)、酒田飽海日本米づくり情報第7報(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 7月2日)、
おいしい米づくり情報第6号(村山農業技術普及課 6月24日)、おきたま米づくり情報No.5(置賜総合支庁農業技術普及課西置賜農業技術普及課 6月22日)、
稲作だより第5号(村山総合支庁北村山農業技術普及課 6月22日)、酒田飽海つや姫情報第4号(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 6月22日)、
平成27年度農作物有害動植物発生予察情報発生予報第4号(7月)(山形県病害虫防除所 7月1日)、
郡山市農作物生産対策協議会(郡山市園芸畜産振興課 6月26日)、主要な農作物の生育情報平成27年度第3号(福島県農林水産部 6月3日)、
稲作情報平成27年度第3号(福島県喜多方農業普及所ほか 6月5日)、平成26年度病害虫発生予察情報注意報第4号(福島県病害虫防除所 6月30日)、
農研速報(水稲の生育状況)(6月30日現在 水戸市)(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 7月2日)、
農研速報(水稲の生育状況)(6月26日現在 龍ヶ崎市)(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 6月30日)、
病害虫発生予報7月号(茨城県病害虫防除所 7月2日)、病害虫速報No.3(茨城県病害虫防除所 6月18日)、
平成27年度水稲生育診断子測査速報No.3(栃木県 6月30日)、植物防疫ニュース(速報No.5)(栃木県農業環境指導センター 7月1日)、
平成27年度病害虫発生予報第3号(栃木県農業環境指導センター 6月19日)、
平成27年度水稲の生育概況vol.1(埼玉県 6月11日)、平成27年度病害虫発生予報第3号(7月予報)(埼玉県病害虫防除所 6月29日)、
水稲の生育状況と当面の対策第3報(千葉県農林水産部 6月26日)、平成27年度病害虫発生予報第3号(千葉県病害虫防除所 6月10日)、
水稲の生育状況と今後の管理対策第4号(新潟県農林水産部 7月1日)、岩船米生育速報(6月30日現在)(村上農業普及指導センター)、
新築田地域水稲育成速報No.4(新築田農業普及指導センター 6月30日)、新潟稲作速報No.4(新潟農業普及指導センター 6月30日)、
FAX稲作速報(三条農業普及指導センター 6月30日)、FAX稲作速報(追加情報)(三条農業普及指導センター 7月1日)、
水稲生育速報No.4(新潟農業普及指導センター 7月1日)、稲作管理情報4(柏崎農業普及指導センター 7月1日)、
稲作だより(柏崎地域農業振興協議会 6月26日付)、南魚沼地域水稲生育速報2(6月30日現在)(南魚沼農業普及指導センター 6月30日)、
水稲生育速報(6月30日)(上越農業普及指導センター)、平成27年度 稲作生育速報No.3(佐渡農業普及指導センター 6月18日)、
水稲生育速報(長岡農業普及指導センター 6月30日)、7.1稲作生育速報(十日町地域)(十日町農業普及指導センター)、
平成27年度糸魚川赤れる米づくり水稲生育情報No.4(糸魚川農業普及指導センター 7月1日)、稲作情報(JA北魚沼・魚沼農業普及指導センター 6月10日付)
水稲生育速報(巻農業普及指導センター 6月18日)、
平成27年度新潟県病害虫発生予察情報・予報第4号(7月の発生予想)(新潟県病害虫防除所 7月1日)、
TACS情報第6号(富山県農業技術課広域普及指導センター 6月30日)、直播情報第4号(富山県農業技術課広域普及指導センター 6月29日)、
病害虫発生予報第4号(富山県農林水産総合技術センター 7月1日)、
平成27年産水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-6号)(石川県農林総合研究センター 6月29日調査)、
稲作情報No.8(福井県水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月26日)、平成27年農作物病害虫発生予察注意報第1号(福井県農業試験場 6月30日)、
平成27年度作物技術普及情報第9号(長野県松本農業改良普及センター)、病害虫発生予報第3号(長野県病害虫防除所 6月15日)、
平成27年度水稲生育診断情報No.2(滋賀県農業技術振興センター 6月26日)、平成27年病害虫発生予報第5号(滋賀県病害虫防除所 6月23日)、
平成27年度兵庫県農業気象技術情報第3号(7月情報)について(兵庫県農政環境部 6月30日)、平成27年度病害虫発生予察予報第2号(兵庫県病害虫防除所 6月8日)、
平成27年度病害虫発生予報第4号(岡山県病害虫防除所 7月1日)、
稲作ポイントアドバイス(No.4)(JA長門大津・長門農林事務所 7月1日)、農作物病害虫発生予報7月(山口県病害虫防除所 7月1日)、
気象情報に基づく技術対策・作物(愛媛県農林水産研究所 7月2日)、病害虫発生予報(7月)(愛媛県病害虫防除所 7月2日)、
平成27年度における早期水稲の生育状況(5月29日時点)(高知県農業技術センター)、平成27年度水稲の生育状況(輪多農業振興センター 5月28日)、
平成27年度病害虫発生予察予報第4号(7月)(高知県病害虫防除所 7月3日)、
福岡県の主な農作物の生産状況(福岡県農林業総合試験場 6月15日)、平成27年度病害虫発生予報第4号(7月)(福岡県病害虫防除所 7月1日)、
平成27年度病害虫発生予報第4号(7月予報)(熊本県病害虫防除所 7月1日)、
平成27年産宮崎県早期米産地情報(平成27年4月20日現在)・平成27年産早期米生育状況(宮崎経済連ホームページhttp://www.miyazaki-cha.jp/kome/index.html 5月12日)
平成27年度病害虫発生予報第3号(宮崎県病害虫防除所-肥料検査センター 6月29日)、
平成27年度病害虫発生予報第4号(鹿児島県病害虫防除所 6月30日)

北海道地方方向ご1か月の天候の見通し(札幌管区気象台)、東北地方方向ご1か月の天候の見通し(仙台管区気象台)、関東甲信地方方向ご1か月の天候の見通し(気象庁)、
北陸地方方向ご1か月の天候の見通し(新潟地方気象台)、近畿地方方向ご1か月の天候の見通し(大阪管区気象台)、中国地方方向ご1か月の天候の見通し(広島地方気象台)、
四国地方方向ご1か月の天候の見通し(高松地方気象台)、九州北部地方方向ご1か月の天候の見通し(福岡管区気象台)、九州南部・奄美地方方向ご1か月の天候の見通し(鹿児島地方気